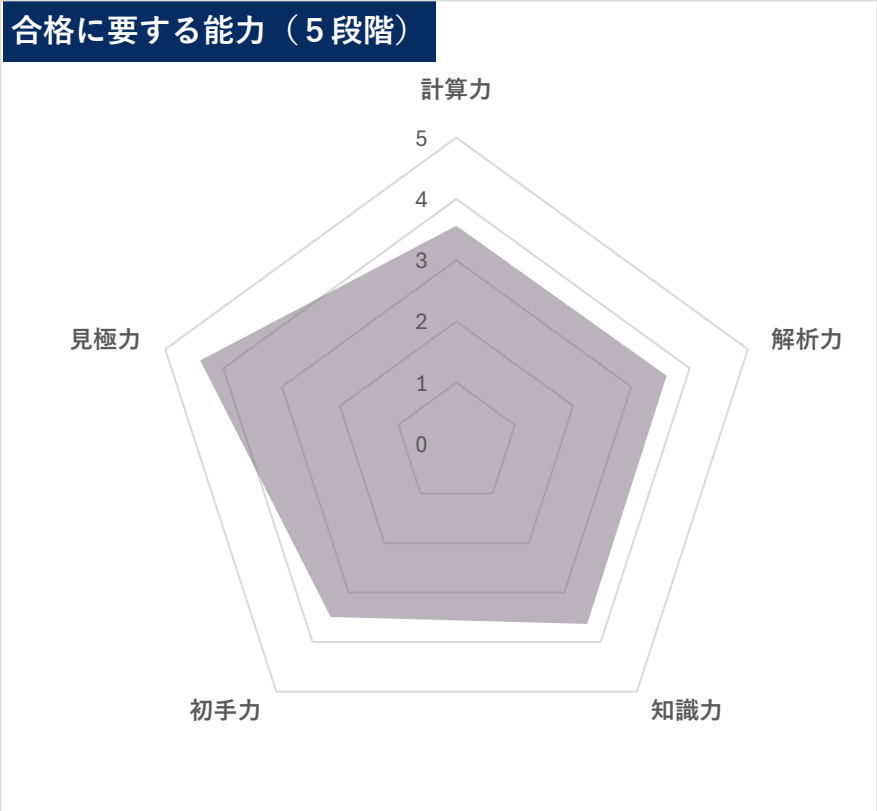


総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	90分	大問数	全 10 問
------	-----	-----	--------



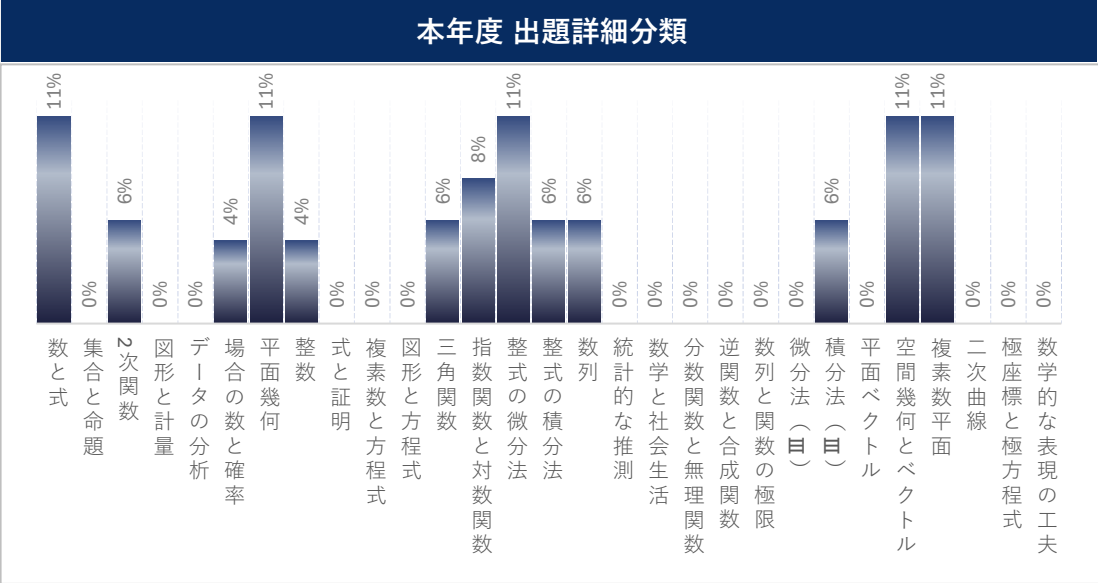
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.4	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.4	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.4	解くことに必要な知識の量
初手力	3.3	初手の難しさ
見極力	4.2	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学Ⅰ	17%
数学A	20%
数学Ⅱ	30%
数学B	6%
数学Ⅲ	6%
数学C	22%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	一般項と和の関係
第 2 問	メネラウスの定理
第 3 問	面積計算(数Ⅲ)
第 4 問	桁数問題
第 5 問	3の倍数を作る
第 6 問	面積計算(数Ⅱ)
第 7 問	複素数平面上の点の軌跡
第 8 問	切片系の平面上にある円
第 9 問	絶対値付き 2 次関数の最大・最小 他



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価				
難度	3.6	最難を 5 とする問題自体の難度	やや難しい	一次合格に必要な正答率（予想）72%
分量	107分	完答に要する時間（制限時間は90分）	やや多い	高い正答率を要する

入試の特徴と対策	▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。 ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。
入試から見る大学が求める学生像	例年後半に難度の高い問題は含まれているものの、全体としては標準的な問題が多く特に前半はしっかりと基礎学力があれば難なく合格最低点は狙える。 しっかりとした基礎学力が身についている学生を求めていると考えられる。